

上信越高原国立公園

米子大瀑布

米子大瀑布とは、複数峰による四阿火山カルデラの断崖を流れ落ちる不動滝(落差89m)と権現滝(同82m)の2つの滝の総称であり、日本の滝百選にも選ばれている名瀑です。「米子瀑布群」として国の名勝にも指定されています。

不動滝へはほぼ真下まで近づくことができ、米子川を挟んだ対岸からは不動滝と権現滝の2滝を同時に眺めることができます。



登山道で 見られる植物

ニリンソウ
【二輪草】キンポウゲ科

見頃
5月～6月



林の中や山麓の草原などに群生する多年草。春の暖かな陽を浴び、群れて咲いている雰囲気は心が和みます。高さはおよそ15～25cm。

カラマツソウ
【唐松草】キンポウゲ科

見頃
8月～9月



和名は花形がカラマツの葉に似ていることから。茎葉は3～4個枝分かれた複葉で、枝と葉柄の分岐点に小さな葉(托葉)があります。高さはおよそ80cm。

※国定公園では動植物の採取は禁止されています。

熊に注意!

途中にある熊鐘を鳴らしながら歩きましょう。



米子不動尊奥之院本堂

両滝の間に建立されている米子不動尊奥之院本堂は、千葉成田の不動尊、新潟菅谷の不動尊と並び、日本三大不動尊のひとつに数えられています。

米子神社



米子鉱山跡地

米子大瀑布を正面に望む台地には硫黄などを産出する米子鉱山がありました。全盛期には周辺に約1,500人の関係者が暮らし、診療所や学校などもありました。当時は米子鉱山から現在の須坂駅まで物資運搬用の索道も走っていました。

奇妙滝

奇妙滝の
向かい道は
2024年10月現在
通行禁止



権現滝

A

滝の間近まで
行けます
標高1450m

不動滝

B

権現滝 落差82m

轟音とともに豪快で直線的に滝壺へ落ちる。木陰から望む紅や黄色に染まった紅葉と滝は、写真愛好家の人気スポットです。



A



B

不動滝 落差89m

やわらかに広がりまるでレースのカーテンのように霧状になびく。古くから修験者の「みそぎの場」として知られ、今でも滝に打たれる行者の姿が見られます。

約20分

権現橋

根子岳山荘

大黒橋

日本の滝
百選の標柱
標高1430m

米子川

不動橋

カラマツソウ

約30分上り

ニリンソウ

奥万橋は
吊り橋です
一人ずつ
渡りましょう

奥万橋

カラマツソウ

約20分

日本の滝
百選の標柱
標高1480m

あずまや

約30分下り

熊野権現橋

自由に
使える
ストック

標高1300m
駐車場
普通車50台

登山道
1周(約3km)
約2時間

入口に
トイレと
休憩所

飲み物は
事前に準備を
米子大瀑布周辺に
は自動販売機はあ
りません。

- 周遊道
- 登山道
- 舗装路
- 作業用道路
- ビュースポット
- 熊よけの鐘
- 携帯電話の
つながりやすい
ポイント

※登山道は
反時計回りがおすすめです。

須坂市街↓

奇妙山石仏群